

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」.....

たまちゃん通信

平成 30 年 8 月発行 102-4

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

予想外の出席者にうれしい悲鳴

札幌お手玉同好会のお手玉講習会

札幌お手玉同好会(西村寛幸会長)は、前回、念願のお手玉競技大会を開催しました。その際、参加者から、次は、お手玉講習会を開いてほしいとの要望がありました。

そこで、今井幸子名誉顧問ほか会員と相談を重ね、講習会は、①お手玉製作指導、②お手玉技術披露、③お手玉遊び紹介、④参加者全員によるお手玉遊びとしました。

企画の段階では、「初めてだから 30 名くらいの参加があれば成功だね」と話して

いました。ところが、会員の蔦道子さんが、参加者募集の新聞掲載や、区役所や地下鉄に協力をお願いして、掲示板に案内を出しました。それが功を奏し、若い人から 50、60、70 代さらには 90 代の人など、予想外の 100 人の参加となりました。会場も、当初予定していた部屋から、急遽、大ホールに変更しました。



顧問を中心に、ソーラン音頭を合唱しながら、お手玉遊びを楽しみました。このお手玉遊びは、参加者にとっては、初めての体験でした。

笑顔あふれる総勢 100 人によるお手玉回し

全員でのお手玉遊びは、蔦道子さん、向井富美子さんの指導で「あなたがたどこさ」を歌ってお手玉回しをしました。途中から蔦さんの歌が早くなり、それに遅れじと一生懸命な姿と、笑顔があふれ、最後にふさわしい盛り上がりとなりました。(写真右上：100 人によるお手玉回し)

会員そろって準備をした講習会でしたが、とくに、ニッ森英子さん作のステージに掲出する「札幌お手玉同好会」の横断幕と、会場入り口の「お手玉遊び」の掲示は、布を縫い合わせた刺繍の素晴らしい作品で、会場に花を添えました。(写真右下：蔦さん手づくりの大会表示)

講習会を終えて、西村会長は、次のように話しています。

「初めてのお手玉講習会は、会員全員が、明るく、笑顔で、活発に生き生きした、まさに「手から心へ温もりを」を実践することができました。後日談ですが、講習会参加者のうち 10 名が、講習会後の例会から入会し、お手玉遊びの実践に加わってくださっています。これからも、新会員の獲得に努めてまいります」

